

第5期 やきものの未来を知ってみよう (9/14)

まとめ

・今まで美濃焼やタイルが有名だということは知っていたけど、どういうところがすごいのか、どう作られているのかは知りませんでした。長い歴史があることなどを知ることができて、とても楽しかったです。(小6)

・陶器やタイルは、いろいろな人たちが協力して作っていることを知りました。また美濃焼の原料の土は最初は湖だった所から作られたと知りびっくりしました。



(小4)

・暑い日でしたが、鉾山見学がバスからと聞き、安心しました。(小3保護者)

・陶器やタイルが捨てられてからも、また焼いて直すことができるかと初めて知りました。この講座に参加して、大好きだった多治見のことがもっと好きになりました。また参加したいです。(小3)

・観光バスで見学できるとは驚きました。今回1人の参加で、出発前は不安から顔が引きつっていました。「4ヶ所も見学させてもらったよ!」とお土産を見せながら、楽しそうに話してくれほっと一安心です。多治見の自慢できる所や陶器を、身近なものとして学ぶことができる機会は本当にありがたいです。大きなバスに乗ることで、社会見学気分も味わえた講座になりました。(小2保護者)

・この度は講座を開講していただき、ありがとうございました。帰宅後には、見学で得た情報等をわくわくしながら話してくれました。普段学校ではなかなか学ぶことのできない内容で、大変貴重な機会をいただいたと感じました。ありがとうございました。(小2保護者)

・すごく楽しそうに講座から帰ってきましたので参加してよかったです。地場産業であるやきものを、土のところから見学できたのは、よい経験



になりました。子どもの「やきものをもっと知りたい」という言葉が聞けてとてもうれしいです。

(小2保護者)

・陶磁器の力は偉大だと思いました。「人と人との関わりが陶器で深まりそうだ」と思いました。(小5)

第6期 多治見の歴史探偵になろう② (10/12)
700年前にタイムトラベル〜虎渓山永保寺〜

①開山堂・観音堂

・娘は、初めて耳にした「夢想国師」という名前の響きを不思議に思い「どんな漢字で書くのですか?」と質問したようです。中学生ボランティアの方が、説明してくださったのですがまだ習っていない漢字なのでイメージしづらかったようです。すると、すぐさま先生が、漢字で印字された紙を見せて説明してくださったそうで「理解が深まった」と言っていました。「学習するためのサポート体制が整っているのだな」と感じました。



(小3保護者)

②坐禅

・「なぜかわからないけど気持ちよかった」と言っていたので、次は家族で体験したいです。(小4保護者)

③まとめ

・ボランティアのお兄さんお姉さんに大変よくしていただき、ありがとうございました。(小3保護者)

・多治見に生まれて育っているの、故郷の歴史を専門の方に教えていただけて勉強になりました。

(中1保護者)

④中学生ボランティアより

○講座に参加して、どうでしたか?

A よかった 100%

○多治見はよい所だと思いませんか?

A 思った 100%

○多治見がもっとよくなるといいと思いませんか?

A 思った 100%

理由

・国宝が多治見市にある。

・グループの子が熱心に質問していた。このように積極的に知ろうとする姿があれば、いろいろな人に広がっていくのではないかと。

○自分も「わがまち多治見」のために何かしたいと思いませんか?

A 思った 100%

・国宝を大勢の人に教える。

・活性化するように、挨拶や清掃活動を行う。

・ボランティアに参加して、多治見に貢献したい。

・他校の人と仲よくなり、自分の知らないことを学べて楽しかったです。700年前の建造物を大切に大切に守っていることは、文化を堪能することができるのでよいことだと思います。また、機会があれば参加したいです。(中2)